

名古屋市議会 6月定例会 最終日(7月11日)

「国保料引き下げ等を求める」請願が不採択に さはし議員が採択を求めて討論

7月11日、委員会で不採択となった「緑市民病院のよりよい医療を求める請願(1項)」「国民健康保険の改善を求める請願」「火葬場建設について地元住民の理解を得ることを求める請願」の採決が行われ、さはしあこ議員が「国保料引き下げを求める請願」の討論を行いました。さはし議員の討論の概要を紹介します。

高すぎる国保料の引き下げは当然

国民健康保険料は、2008年度に保険料未納分の一部と葬祭費などが上乘せされ、大幅に引き上げられました。さらに、2010年度には、所得割の保険料率が引き上げられたことにより、本市の保険料は、19政令市の中で7番目に高い保険料となり、この間の保険料の値上げ幅は、政令市の中で、最も高くなりました。

国民健康保険は、高齢者や中小業者、さらには雇用の3割余りを占める非正規労働者など、低所得者層の命と健康を守る最後のセーフティーネットであります。

社会保険と違い、事業主負担が無いため、被保

険者の所得における、国保料の占める割合が高くなっており、生活が苦しい、経営が立ち行かないなどの理由から、滞納を余儀なくされ、払えない人が本当に多いのです。



市議選では国保料の引き下げを公約

出直し市議選では、ここにおられます少くないみなさんは、国保料の引き下げを、公約・政策として、かかげられました。

私たち日本共産党市議団5名と他会派1名の計6名が、請願の紹介議員となりました。紹介議員は、その請願に対し賛成しなければなりません。

選挙では引き下げを公約した自民・民主

以上の討論の結果、紹介議員になっていた減税日本の団長と日本共産党の5人が請願に賛成しましたが、他の減税日本と自・公・民が反対して不採択となりました。

請願・陳情審査の結果(委員会での審査結果)

請願名(請願項目)	各会派の態度					結果
	共	減	自	公	民	
短歌会館の存続を求める請願						採択
緑市民病院のより良い医療を求める請願	1 指定管理者制度をやめ、市立直営の堅持を					不採択
	3 第二次救急医療体制充実					採択
	4 地域の医療機関と連携し、中心的役割を果たす					
	5 協議会の設置を					
	国民健康保険の改善を求める請願(国保料の一人平均年額1万円以上引き下げを、など5項目)					不採択
妊婦健診の受診費用に対する補助の拡充等を求める請願(妊婦健診の周知徹底を)					趣旨実現、審査打切り(補助拡充は継続)	
火葬場建設について地元住民の理解を得ることを求める請願					不採択	
浜岡原発の運転停止を求める決議に関する請願					趣旨実現、審査打切り	

自民党公認 中田ちづこ

中田ちづこ事務所「何でも相談室」には、連日多くの方々が相談に訪れ、年間件数を超え、今までに30,000件を超える相談があります。今後も、みなさまのお役にたてるようがんばります。

- 国民健康保険料の値下げを約束します
- 市民税10%減税の恒久化に賛成しました
- 議員報酬800万円に賛成します
- 商店街活性化に向け積極的に取り組めます
- 小中学校の給食費の無料化に取り組めます

中田ちづこ

自民党市議の選挙公報(上)と民主党マニフェスト(下)

例えば『借金を増やす市民税10%減税をやめれば、以下の施策が実現できます。』

<ul style="list-style-type: none"> ■ 国民健康保険料 12,000円/年 値下げ ■ 老人ホームの整備補助 ■ 設備投資に係る固定資産税分の補助 ■ 緊急雇用対策費の上乗せ ■ 中学生までの医療費の全額無料化 ■ 保育園の待機児童の解消 ■ 小中学校の給食費の無料化 ■ 第二子保育料の無料化(同時在園の場合) ■ 一般不妊治療無料化(上限15万円まで) 	<p>左の施策全てを同時に実施する予算額</p> <p>226億円</p>	<p>市民税10%減税の予算額</p>
--	--	---------------------